

■チーフポートフォリオマネージャーより

運用責任者メッセージ

5月の株式市場は新型コロナウイルスの拡大に伴う世界的な自粛期間を経て、各国で経済活動が再開はじめたことで大幅高となりました。特に、大規模な第二次補正予算などを好感した日本株の上昇は世界的にみても大きなものとなりました。また、5月末現在で年初来の国内主要株価指数の騰落率をみると東証マザーズ指数だけが+10%近い上昇となっていることは、アフターコロナの新しい社会をリードする企業が東証マザーズ市場に多数存在していることを示していると考えています。当ファンドもそうした企業を組み入れてきた結果、昨年末水準まであと僅かのところまで戻っています。今後も、「ザ・2020ビジョン」にどうぞご期待ください。



代表取締役社長
兼最高運用責任者 伊井 哲朗

■未来予想図～20-20vision～

「未来を拓く3つの要素、人財を大切にすること、リスクへの早めの備え、継続的な研究開発」

1～3月期の決算を経て、企業の4月以降の状況が明らかになってきていますが、新型コロナウイルスの影響で、需要が消失した業種がある一方、テレワークやデジタル、巣籠りに関わる業種は需要を伸ばしています。電話およびウェブ説明会への出席や電話取材を重ねる毎日のなかで、外部からは見えにくいのですが、人財を大切にすること、リスクへの備えができていない会社、研究開発を高いレベルで維持している会社などは、危機に強いあるいは危機が終了した後のチャンスを獲得し勝ち残っていけるだろうと改めて実感しています。

人財を大切にすることは、社員のモチベーションが上がり、優秀な人材も呼び込むことができます。例えば、厳しい外部環境下にある商社、ファストフードのなかで、例外的に強い決算数字や月次売上高を出す会社がありました。その商社は、社員の健康や家族の幸せを重視した経営で、従業員が安心して働ける仕組みをつくっており、そのファストフードでは、アルバイト人財を重要視し大切にすることが浸透しており、教育プランを数多く用意し、コミュニケーション力を高めることで、先進的で顧客満足度の高いサービスにつなげています。

リスクへの備えという点で印象に残っているのは、ウェブサイトやカタログによる一般消費者への安全性に配慮した食品・食材の販売を手がけている会社です。現在の需要環境は追い風なのですが、その会社は、常に、リーマンショックの教訓や、一般的にオリンピック開催年の後の1～2年は景気が悪くなることが多いという経験則を念頭に置き、不況時にも勝ち残っていけるように、提供するサービスごとの特徴を明確化し、収益力を高めるための構造改革を急いでおりました。

研究開発を高いレベルで維持している点においては、自動車および自動車部品大手を注目しています。自動車業界の研究開発は、環境・安全・安心を主眼とし将来に向けたものです。最近、世界的な経済活動の自粛で減少していた大気汚染が、経済活動再開で再び増え始めているという話を聞きます。国内系証券会社のアナリストレポートによると、世界で最も大気汚染がひどい部類にあるインドにおいて、スクラップインセンティブの可能性が論じられておりました。スクラップインセンティブとは、古い車を廃車し、新しい環境規制対応車に買い替えると、政府から買い替え促進の補助金が支払われるというものです。リーマンショック後などに日本（エコカー補助金）、ドイツ、フランスなどで実施され、自動車需要の押し上げ効果がありました。インドで実施されれば、需要の押し上げ効果に加え、排出ガス低減による大気汚染の改善も期待されます。インドに強みを持つ日本メーカーが注目されるのはもちろんですが、環境改善への意欲は世界的なものです。環境技術を磨き続ける日本の自動車業界の活躍の場が広がることを期待しています。



シニア・アナリスト
上野 武昭

■ コモンズPOINTからのお知らせ

【コモンズPOINT応援団】

「ザ・2020 ビジョン」の寄付プログラム、[コモンズ POINT](#)（障がい者スポーツを応援するプログラム）の第7期応援先は、（特）日本視覚障害者柔道連盟と（一社）日本知的障害者水泳連盟の2団体です。

今回はコモンズPOINTのスタート以来、寄付先候補を選定するにあたり様々サポートをいただいていた日本財団パラリンピックサポートセンター（パラサポ）をご紹介します。

パラサポは、「SOCIAL CHANGE with SPORTS」をスローガンに、パラリンピックスポーツを通じて、一人ひとりの違いを認め、誰もが活躍できるダイバーシティ＆インクルージョン（D&I）社会の実現を目指しています。

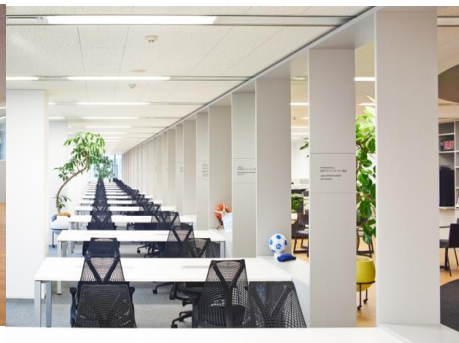
パラサポは東京・虎ノ門にある日本財団ビルの1フロアにあり、そこに29の競技団体が入居する共同オフィスを構えています。数ある競技団体が壁の隔たりなく一つの空間をシェアし、随所にユニバーサルデザインが取り入れられています。パラサポは2015年の設立以来、オフィス提供の他、競技団体の持続可能な運営体制構築のために助成金提供など様々な支援をしており、その一環としてコモンズPOINTと連携した支援も実施してくださっています。

パラリンピック競技団体の支援をはじめ、パラサポのこれまでの活動実績はこちらからもご覧いただけます。

<https://www.parasapo.or.jp/>

競技や選手たちの情報も充実した運営サイトもご覧ください。

<https://www.parasapo.tokyo/>



POINT担当 馬越裕子

■ お知らせ

Pick up！セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

6月15日（月）・6月25日（木）19:00～20:00

#forgood「お金の未来を考える」～マーケット、どう見たらよい？～

6月23日（火）・15:00～16:00

#forgood「お金の未来を考える」～積立投資とコモンズのファンド～

ぜひこの機会に[「COMMONSTV」](#)のチャンネル登録もよろしくお願いします！

ザ・2020ビジョン

追加型投信 / 国内 / 株式



基準価額の推移

2013年12月27日 ~ 2020年5月29日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2020年5月29日時点

基準価額

17,379 円

(前月末比)

+2,001 円 (13.01%)

純資産総額

45.6 億円

(前月末比)

+5.2億円 (12.96%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	13.01%
3ヵ月	21.57%
6ヵ月	0.83%
1年	17.44%
3年	31.82%
5年	23.48%
10年	-
設定来	74.99%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2015年12月	0円
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	120円
設定来合計	120円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	89.1%
その他	10.9%

市場別比率

東証1部	60.9%
マザーズ	22.6%
JASDAQ	5.6%
その他	10.9%

業種別比率

情報・通信業	32.1%
サービス業	12.8%
電気機器	11.7%
その他製品	6.1%
化学	6.1%
機械	5.7%
小売業	4.7%
精密機器	4.3%
医薬品	2.6%
卸売業	1.8%
不動産業	1.2%
その他	10.9%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	銘柄概要	組入比率
1 エムスリー	サービス業	医療従事者向け情報サイトで製薬会社への情報提供支援事業、医薬の研究開発のe化を推進する治験事業を展開。MR君(医療情報提供サービス)の持続的な成長に加えて、治験のe化を推進する「治験君」が第2の成長エンジンへ。	5.2%
2 任天堂	その他製品	据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。	4.9%
3 ソニー	電気機器	世界トップシェアを誇る半導体“CMOSイメージセンサー”を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。	3.4%
4 花王	化学	ファブリック&ホームケア事業（衣料用などの洗剤、消臭芳香剤など）、スキンケア事業（洗顔料、ボディローション、シャンプー・リンスなど）、ヒューマンヘルスケア事業（おむつ、生理用品など）、化粧品事業、ケミカル事業からなる。2019年12月期は、10期連続営業利益増、7期連続営業最高益、30期連続増配を達成。事業戦略とESG戦略を融合し、グローバルで存在感のある会社を目指す。	2.3%
5 ワークマン	小売業	1982年設立。北関東のスーパーマーケットから分離した作業服専門チェーン。機能性があるのに、徹底的に安いのが特徴。従来、運送業や設備工事業、土木業などに従事する人たちが購買の中心だったが、SNSや口コミで支持され、一般消費者への購買も広がってきている。需要予測システムやトレンド分析の活用などで売れ残りを減らす施策も展開。	2.0%
6 KADOKAWA	情報・通信業	1945年創業。企業スピリットは、変化を恐れずに挑戦し続ける心。文芸出版社の時代、文庫と映画のメディアミックスの時代、雑誌の時代などで存在感を発揮。2014年にドワンゴと経営統合、「ニコニコ動画」などドワンゴのプラットフォームとKADOKAWAのコンテ	2.0%

		ンツを融合、デジタルコンテンツ・プラットフォーマーとして、中長期的な成長を目指す。	
7 S H I F T	情報・通信業	「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」を掲げ、中堅から大企業を中心にソフトウェアの品質保証・テスト事業を展開。卓越した実践力を持つ丹下社長、会社の「品格」面から成長を支える松尾副社長により、売上高1000億円超の世界No.1品質保証専門企業を目指す。	2.0%
8 村田製作所	電気機器	国内電子部品大手メーカーで多くのグローバル高シェア製品を有する。海外売上高比率は90%超。5Gスマホ向けや基地局向けの電子部品等が業績の牽引役に。また、自動車向けでも「電動化」、「コネクテッド」、「安心・安全」等の進展につれて自動車の電装化が進み需要拡大が期待される。中期経営計画「中期構想2021」にて2021年度に売上高2兆円を目指す。	2.0%
9 アンリツ	電気機器	携帯電話・基地局向けなど通信系計測機器大手メーカー。技術力を背景に海外でも高いシェアを誇る。5Gの普及拡大を追い風に売上、利益成長が見込まれる。モバイル市場向け計測器需要のピークアウト後も、自動車・産業機器などIoT用途向けに5G 利用の拡大が見込まれ、2020年代半ばにかけて需要拡大が続く見通し。食品業界向けの異物検出機なども展開。	1.9%
10 T D K	電気機器	大手電子部品メーカーの一角。磁性材料「フェライト」の工業化を原点とする素材技術からスタートし、今では、電子部品や磁気応用製品を製造。ヘッド、バッテリー、磁石、受動部品をコアに、電子部品事業を軸足として市場の求めるソリューションにより、大きく飛躍することを目指しています。今後の需要拡大が期待される車載用や民生用などのセンサ応用製品の領域に注力。	1.9%

※2020年5月29日時点

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

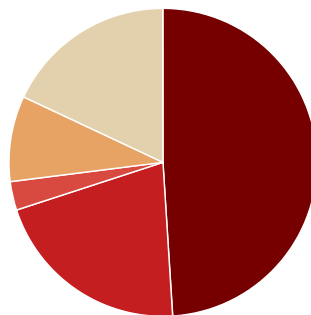
※その他とは現金等を指します。

※業種については東証33分類に基づいて記載しております。



時価総額別構成比

時価総額別構成比



- 1000億円未満: 49.0%
- 1000億円以上3000億円未満: 21.0%
- 3000億円以上5000億円未満: 3.0%
- 5000億円以上1兆円未満: 9.0%
- 1兆円以上: 18.0%

※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



市場概況

5月前半の日本株市場は、新型コロナウイルスによる世界的な景気悪化が意識され大幅に下落して始まりましたが、国内外で新型コロナの新規感染者数が減少傾向となり、欧米で経済活動再開に向けての動きが報じられたことで大型連休明けに日本株は反発に転じました。

8日に行われた米中閣僚級電話会談で米中対立の激化懸念が後退したことで世界的株高になる中、日本株も上昇し11日に日経平均株価は年初高値から3月安値までの下落幅の半値戻りを達成しました。

その後は、米中対立の再燃や各国の経済活動再開による感染第2波の懸念からもみ合いの展開となりましたが、18日に米国で新型コロナワクチンの臨床試験で有効な結果が得られたことで米国株をはじめ世界的に株価上昇となりました。21日に首都圏を除いて全国的に緊急事態宣言が解除されたことや、第2次補正予算が閣議決定されたことで日本株の上昇にも弾みがつき、さらに欧州委員会が大規模の景気刺激策を提言したことやFRBの金融緩和姿勢の継続が伝わったことで上昇を続け、月末の日経平均株価は前月末比1,684円高(+8.34%)の21,877.89円で取引を終えました。

トレーディング部 淵上 幸男



運用状況

◎ファンド月間リターンと主な投資行動

5月、当ファンドは+13.01%の上昇となりました。2ヵ月続けて、TOPIX（東証一部株価指数）や日経平均株価を大きく上回る結果となりました。

個別には20%以上上昇した銘柄が17銘柄となるなど、小型成長株のパフォーマンスが大きく貢献しています（組入上位銘柄ではワークマンが28.09%の上昇）。

なお、月末に大きく相場が上昇したことから現金比率を10.9%まで高めています。

最高運用責任者 伊井 哲朗



販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第6号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	



ザ・2020ビジョンのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不足の損失を被るリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ザ・2020ビジョンの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産により控除されます。上記の手数料 (費用) 等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/国内/株式
	信託設定日	2013年12月27日
	信託期間	無制限 (ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
	決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	(コモンズ投信の場合) 1万円以上1円単位 (委託会社が指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込受付日の基準価額
	換金単位	(コモンズ投信の場合) 1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。

◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。

◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前9時～午後5時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>